

問9 本調査またはリハビリテーションについてのご意見	
62	私はリウマチですが、2種2級の身障者ですが、4月の改正で今まで受けていたリハビリもプールリハビリも受けられなく、不自由をしいられている。一般のプールは、人工関節の私達には、階段も降りられないし、入ることが出来ない。弱者切り捨ての制度は辞めてほしい。
63	リハビリをやって、良かった。良くなったので。
64	(1)自分が日常充分注意していたのに不用意にも転び左手の自由がきかなくなり、今まで何の感謝もなく日常手を動かしていたことに改めて気づかされたこと、歩行出来ること。(2)医療施設では、予めリハビリに入る前に質問項目であった、計画、目標、具体的内容等について、詳しく説明をしてほしかった。それが全くなくとても不安で途中で、セカンドオピニオンを受けたいと強く思った。私が医師ならばこんな診察は絶対しないだろうと強く思わされた。
65	私は幸いな事に大変熱心な先生にリハビリを行っていただきましたので何事もなく心配もなく今は仕事に行ける迄になりました。心配もなく先生に頼れるという事は患者にとってこの様な小さな事でも大変嬉しかったのです。励まされ、頼れるという事は、自分も早く先生の期待にそえる様に頑張る事が出来る事だと思います。先生も患者の気持ちになってほしいと強く思います。
66	楽しくリハビリを行っている。
67	リハビリは指導してもらおうと、努力できるものです。個人差もありますので、期限を切らずに、必要な人には、リハビリを公的機関で管理して下さい。生きるという事は、できれば、自分の力で、何とか行動したいという事なのです。(食事、歩行、排便等)私は今回交通事故でのリハビリでしたが、病院で御年寄りの方々が、頑張って歩行訓練等受けている姿を見て、感心もし、自分の老後も考えさせられました。リハビリはとても、大切です。よろしくお願いします。
68	左肩の痛みで通院、リハビリテーションを受けていますので、日常生活には支障なく、本アンケート回答欄に該当する項目がなく、未記入の部分があります。
69	私は、右膝が痛くなり、階段の上り下りが大変になり先生の所へお伺い致しました。今は大変右膝は良くなりましたが、左膝も痛くなり、亦肩も痛くなり今も通院しております。先生も、とても優しいので嬉しく思っております。私は4階に住んでおりますが、エレベーターがありませんので手摺りで上り下りしております。
70	調査票が大変おそくなりまして失礼致しました。よろしく御願い致します。
71	今一つ調査内容が掴めませんが、調査したからには(無駄はありませんから)有効に生かして下さい。三か所の病院に通っていますが、ケア、リハビリで一番大切なことは人間関係ではないでしょうか。なかでも脊椎狭窄症で通院しているところは、医師も看護婦さんも患者に対する快い対応や適切な処置が評価で患者さんが多いように思われます。(待ち時間、患者さんとの会話から)病院やケアでは患者がもつ不安や恐れが少しでも取り除くような対応が大切ではないかと思います。医師の患者の心境や病院を適確に把握することも大事ですね。私自身のことで記せば、長い間胸の皮膚にしこり、腫れ物があり段々大きくなって心配の種でした。診察の時、一言いいましたら医師はその場で「手術しましょう。簡単ですから」と。麻酔→手術と完全に悩みは解消しました。医師の姿勢や処置に感謝しています。医術プラス仁術でしょうか。
72	自分にあったリハビリを毎日わかるように説明して歩き方の治療をしてくれた。本当に自分ももっと大変だったら、リハビリがいかに大変で必要なのかわかりました。今の社会はリハビリに対して国が